

令和2・3・4年度

豊橋市教育委員会・豊橋市立小中学校現職研修委員会 研究委嘱「学習指導」

令和4年度 研究概要



豊橋市立二川中学校

令和2年2月、2年生の生徒Aは5月に行われる中学校生活最後の体育祭を「思い出に残る最高の体育祭にしたい」と強い思いをもっていた。

実行委員会では、「みんなが楽しい体育祭」をテーマに話し合いが行われた。「走る競技は足の遅い子が楽しくない」「部活動リレーはやりたい」等、たくさんの意見が出る中で生徒Aがつぶやいた。

「みんなが楽しいの“みんな”って誰？ “楽しい”ってどういうこと？」

全員があたりまえのように受け入れて話していたテーマに問いをもち、その場に一石を投じたのである。生徒Aの投げかけにより、実行委員がもう一度テーマの共通理解を図るために話し合いを繰り返した。

みんなとは、全校生徒と理解し、全校が参加できる種目を考えることにした。そして、運動が苦手でも、勝負に負けても、仲間と一緒に懸命に取り組むことで楽しさを感じることができると、楽しさについて共通理解を図った。生徒Aは、自分たちなりの答えを出し、仲間とともに計画を進めた。

3月、コロナ感染拡大により休校。

6月、3年生になった生徒Aは「We can do it!! ～可能性は無敵大～」のスローガンのもと、再び動き始めた。3密を回避しながら、全員が楽しめる競技を考えた。全員リレー、しっぽ取り、田んぼドッジ。全校生徒が参加し、学級の仲間と協力して行う競技に決定した。また、生徒Aは二川伝統のソーラン節を開会式で披露して、全校生徒を楽しませたいと練習に励んだ。

そして、9月。体育祭当日。開会式で、堂々とソーラン節を踊る生徒Aの姿があった。全員リレーでは、学級の仲間が走っているのを全力で応援する姿。しっぽ取りでは、学級の仲間と作戦を立てて取り組む姿。田んぼドッジでは、縦割りチームで協力する姿があった。全力で取り組むこと、仲間と協力することに、楽しさを感じていた。

体育祭を終えた生徒Aは、振り返りのありがとうカードに書かれた「学級で一つになれた、ありがとう」や「楽しくて、ずっと笑っていた」などのメッセージを見て、「コロナ禍の中でみんなが楽しめてよかった」と充実感に浸っていた。

生徒Aは、年長のときに東日本大震災で自衛隊が救助作業をしているニュースを見て、自衛隊に興味をもった。3年生の総合では、災害時以外に自衛隊はどんな活動をしているのかを調べていた。

10月、被災地への支援など人々があたりまえの生活ができるように、自衛隊が国民の生活を支えていることを知った。生徒Aは、「将来、人々が安心して微笑み合えるように、人々の生活を守りたい」と自衛隊員になる夢を語った。その言葉からは「みんな」が“楽しい”を大切にする生徒Aの思いが感じられた。



「コロナ対策で頑張っている医療機関のかたへ何かできないだろうか」

2年生の生徒Bは休校中、小学校のときに熊本地震で募金活動を行ったことを思い出し、「コロナの最前線で闘う医療従事者を応援したい。僕に何かできないだろうか」と考えていた。生徒Bは、学校が再開した令和2年6月、その思いをすぐに行動に移した。同学年の生徒会執行部の生徒に、思いを伝えたのである。

執行部は生徒Bの思いを聞き、「自分たちができることは何か」について考え始めた。生徒会は生徒Bを加えて何度も話し合いを重ねた。全員が参加でき、かつ気持ちが伝わる方法は何かないだろうか・・・。

話し合いの結果、折り紙の花をつくり、みんなの気持ちが届くようにメッセージを書くことを決め、全校生徒に伝えた。花は英国発祥のキャンペーンを参考にして青色に決めた。5枚で1組とし、1つのかごに50本を詰めた。それを、メッセージカードを張り合わせたボードとともに、医療機関へ届けた。

その後、各医療機関から、お礼のメッセージが続々と届いた。

廊下に掲示されたメッセージを見た後、生徒Bは活動後、「医療従事者のかたが喜んでくれたのがわかり、とてもうれしかった。僕たちにできることは小さいことだけど、僕たちにもこのコロナを乗り切るために、何かできるのではないかと考えることが大切だと思う」と感想を語った。

生徒Bは、総合的な学習の時間「働くことって何だろう」において、医療も含め、未来社会における働き方についても考え始めた。

新型コロナウイルスの対応に当たる医療従事者に感謝を伝えようと、豊橋市二川中学校の全校生徒が、メッセージカードと折り紙で作った花を市内の医療機関などに贈る。(中嶋昌良)

豊橋・二川中全校生徒500人のエール
メッセージカードと折り紙の花贈る

医療従事者に手作り感謝込め

発案したのは2年のさん。さんは「全校生徒で心を込めて作ったので、熊本地震で募金活動を行ったことを思い出して、コロナの最前線で闘う医療従事者に何かできないかと思っただけ」という。友人で生徒会のさん(13)に相談し、生徒会執行部で全校生徒約500人からメッセージを集め、折り紙で花を作ることを決めた。生徒が1枚ずつ書き込んだカードには「コロナとたたかってくれて、ありがとうございます」と「さいます」とか「これからもみんなのために、がんばってください」などと、感謝を込めた言葉が並ぶ。

折紙の花を持つさん(前左から2人目)とメッセージボードに掲げる生徒会のメンバー(豊橋市二川中学校)

さん(14)は「全校生徒で心を込めて作ったので、少しでも届いたらいいなと思う」と話した。

岡本雄二校長は「やりたくても、なかなか行動には移せない生徒が自分たちで考え、行動に移せたことがすごい」と生徒たちをたたえた。

メッセージカードを貼り合わせて作ったボードと折り紙の花は、8日に豊橋市民病院と豊橋医療センター、10日に市保健所に届ける。

自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動き出す生徒の育成

～自発的な問いを生むことから始まる、「主体的・対話的で深い学び」の授業を通して～

1 主題設定の理由

本校では、目指す生徒像「自ら学ぶ」「こころ豊かな生徒」「たくましい生徒」、校訓「為せば成る」を掲げ、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成するために、日々教育活動を実践してきた。学校行事や部活動における生徒の動きは前向きであり、教師の指示を真面目に聞き、仲間と協力して活動に取り組んでいる。二川宿本陣まつりをはじめとする地域の行事にも進んで参加をしている。授業においては、教師の話をよく聞き、落ち着いて授業に取り組む様子が見られる。個々の生徒に目を向けると、体育祭でみんなが楽しめるようにと、進んでアイディアを出す生徒が見られた。また、ある生徒が医療機関へ思いを伝えたいと考え、全校生徒を動かす場面も見られた。授業では、自分なりに調べたり、考えを相手に伝えようとしたりする生徒が少しずつ見られるようになってきた。私たちは、このような生徒の自ら動きだそうとする芽を大切にしながら、それを全体に広げ、育てていきたいと考えた。そこで、生徒に、自ら問いをみつけ、考えを深め、学びを生活や社会に生かそうと動きだしてほしいという願いをかけ、令和2年度から、「自律」「協働」「創造」を教育目標に掲げ、教育活動をリスタートした。

情報化、グローバル化、少子高齢化など、社会は私たちの想定以上の速さで、日々変化し続けている。2020年、コロナウィルスの蔓延により、私たちの生活は一変した。前例がなく、予測不能な事態は、多方面で混乱の渦を巻き起こし、被害を拡大し、今も出口の不透明な問題となっている。そんな中でも、ワクチンの開発や普及、経済活動の回復、新たな視点を取り入れた産業の開発など、人々はそれぞれの立場でこの危機的な状況をなんとか打開しようと動き始めている。これから、更に、劇的な変化が予測される未来を生き抜く生徒たち。だからこそ、常識や固定観念にとらわれることなく、自らの意志で主体的に見聞きし、考え、仲間と協働しながら問題を解決し、よりよい未来を創造しようと動き出す、そんな姿勢が必要なのである。

生徒の実態と時代の要請を踏まえ、私たちは、「自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動き出す生徒」の育成を目指す。そのために「主体的、対話的で深い学び」が実現可能である問題解決的な学習を軸とした教育活動を工夫し、生徒の3つの力「問いを生む力」、「考えを深める力」、「学びを行動に移す力」を育てていく。

先の見通せない世の中であっても、思いや願いをもち、主体的に問題を解決し、誰もが幸せと感じられるような未来を力強く創造していく。本校の生徒が、その未来を創り出す真の担い手となることを願いながら、本主題を設定する。

2 目ざす生徒像

「自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動き出す生徒」

(1) 「自らの意志で学び続け」とは……

- ・身のまわりにある事象から、自発的な問い（問題）を見いだし、個人追究や仲間とのかかわり合いを通して、自分の考えを構築していく生徒

※問題とは、個々の生徒がもつ問いが束ねられ、生徒が共有したものを指す

(2) 「未来の創造に向けて動き出す」とは……

- ・問題の解決に取り組む中で、自らの学びを見つめながら、学びを次の学習やこれからの生活に生かそうとしたり、生活や社会に広げたりしようとする生徒

3 力の設定

本研究では以下の「3つの力」を設定する。この3つの力を育成することで、目ざす生徒像「自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動き出す」に迫ることができる。

① 問いを生む力

いろいろな事象に疑問をもち、自ら追究しようと動き出す力

この力を高めると→自発的な問いを見いだし、自らの意志で学び始めることができる。
「なぜだろう」「どういう意味があるのか」「調べたい」「解き明かしたい」

② 考えを深める力

問題の解決に向けた個人追究やかかわり合いを通して、自らの考えを構築する力

<個人追究の場面では…>

この力を高めると→自らの意志で学びを進め、根拠のある自分なりの考えを構築することができる。

「〇〇と考えた。根拠は…」「結果からわかった」「こういうことのはずだ」

<かかわり合いの場面では…>

この力を高めると→仲間の考えとの違いに気づき、自分の考えを再構築できる。

「何が違うのだろうか」「よりよいものは何か」「〇〇さんの見方で考えてみよう」

③ 学びを行動に移す力

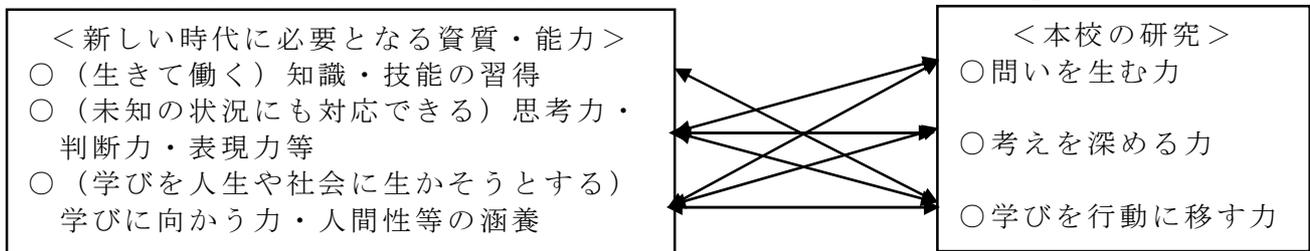
自らの学びを生かしたり、広げたりする力

この力を高めると→自分の学びを見つめ、それを生かしたり広げたりしようとして動き出すことができる。

「自分は〇〇を学ぶことができた」「まわりに広げたい」「生活に生かせそうだ」

<参考：評価について>

新学習指導要領の育成すべき資質・能力と、本研究の「3つの力」との関係



※問題解決的な学習単元では、本校の研究「3つの力」が身についたかという視点で評価を行うことにする。学年、教科ごとのまとまりで「力の評価表」【資料1：参照】を作成し、力が育まれたかを判断する基準とする。

※上記の評価を評定に用いる場合は、上の相関関係を意識し、本校の3つの力と3観点との整合を図りながら、評定に用いる評価として利用する。

例：問いを生む力の高まりを評価 → 思考力・判断力・表現力の観点として利用

【資料1：力の評価表】 問題解決的な学習単元では、「3つの力」が身についたかという視点で評価を行う。この評価を評定に用いる場合は、3つの力と3観点との相関関係を意識して利用することにする。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	体育	技術・家庭	英語	総合的な学習の時間	
問いを生む力	1年	・作品との出会いや感想交流の中で問いを見だし、自分なりの考えをもって追究を始めようすることができる	・資料や体験をもとに社会的な事象に対して疑問をもち、自分なりの視点で追究を始めようすることができる	・数学的事象のよさに気づき、追究を始めようすることができる	・主に目に見る自然の事物・現象の中に問いを見だし、自分で予想を立てて追究を始めようすることができる	・生活の中に存在する音や音楽に問いを見だし、よりよい音楽表現の追究を始めようすることができる	・作品や事物の中にある美術や美術文化に触れ、制作者の思いや制作方法に関心や疑問をもち、追究を始めようすることができる	・自己の生活や心身の発達状況から問いを見だし、個人追究を始めようすることができる	・各運動領域での試しの実践(試技・試しのゲーム)を通して問いを見だし、よりよい動きづくりの個人追究を始めようすることができる	・生活や社会の中から問題を見だし、その解決策について追究を始めようすることができる	・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うために必要なことについて問いを見だし、追究を始めようすることができる	・三川地区の「宝」を探る中で問いを見だし、その解決に向けて動き始めることができる
	2年	・作品との出会いや感想交流の中で書き手の主張や思いを考えながら追究を始めようすることができる	・資料や体験をもとに社会的な事象に対して疑問をもち、幅広い視点から追究を始めようすることができる	・数学的事象のよさを実感し、追究を始めようすることができる	・主に目に見えない自然の事物・現象の中に問いを見だし、自分で仮説(根拠のある予想)を立てて追究を始めようすることができる	・生活や社会の中の美術や美術文化に触れ、制作者の思いや制作方法に関心や疑問をもち、見通しをもって追究を始めようすることができる	・自己の生活習慣や生活環境における危険予測をもとに問いを見だし、個人追究を始めようすることができる	・自己の生活や自己生活環境における危険予測をもとに問いを見だし、個人追究を始めようすることができる	・これまでの学習経験を踏まえて問いを見だし、仲間とかがわり合って追究を始めようすることができる	・生活や社会の中から問題を見だし、その解決策について追究を始めようすることができる	・社会的な話題や諸外国の文化などについて問いを見だし、それらについて自分の考えを構築するために追究を始めようすることができる	・職業体験や二川宿本陣まつりへの参加を通して、地域が抱える問題に気づき、自ら解決しようとする動き始めることができる
	3年	・作品との出会いや感想交流の中で問いを見だし、主題、主張と根拠などに着目しながら追究を始めようすることができる	・資料や体験をもとに社会的な事象の中に今日的な課題を見だし、解決の方法を考えながら、追究を始めようすることができる	・数学的事象のよさを多面的に捉え、追究を始めようすることができる	・主に目に見えない自然の事物・現象の中に問いを見だし、自分で仮説を立てて、見通しをもって追究を始めようすることができる	・これまでの学習経験を踏まえて生活の中に存在する音や音楽に問いを見だし、見通しをもって、追究を始めようすることができる	・生活や社会の中の美術や美術文化に触れ、制作者の思いや制作方法に関心や疑問をもち、見通しをもって追究を始めようすることができる	・自己の生活や自己を取り巻く生活環境から問いを見だし、個人追究を始めようすることができる	・これまでの学習経験を踏まえて問いを見だし、仲間とかがわり合って追究を始めようすることができる	・生活や社会の中から問題を見だし、その解決策について追究を始めようすることができる	・社会的な話題や諸外国の文化などについて問いを見だし、それらについて自分の考えを構築するために追究を始めようすることができる	・SDGsの視点から二川を見つめ、地域が抱える問題に目を向け、解決をしようとする動き始めることができる
考えを深める力	1年	・集めた情報から、重要なものを選び、自分の考えを構築することができる	・解決に必要な具体的な情報を収集・選択し、社会的な事象の意味や意義を考察することができる	・数学的事象を、論理的に考察できる	・観察や実験など科学的に探究し、結果をもとに、考察することができる	・歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりをもとに、音楽をどのように表すかについて思いや意図をもつことができる	・造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫について考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる	・自己の生活と関連づけて、健康・安全についての課題を発見し、科学的な根拠をもとにその課題を解決することができる	・運動の特性に応じた動きのポイントと自己の動きとの比較をもとに、仲間と積極的にかがわり合って、自己の課題を合理的に解決することができる	・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うために必要なことについての追究や意見交換を通して、自分の考えを構築することができる	・三川地区の「宝」について、個人やかがわり合いを通して追究し、自分なりの考えをもつことができる	
	2年	・表現の仕方や構成の工夫に着目して書き手の考えを構築することができる	・解決に必要な具体的な情報を収集・選択し、社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察することができる	・数学的事象を、論理的に考察できる	・観察や実験など科学的に探究し、結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだしながら考察することができる	・歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりをもとに、音楽をどのように表すかについて思いや意図をもつことができる	・造形的なよさや美しさ、表現の意図や創造的な工夫について独創的、総合的に考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる	・自己の生活と関連づけて、健康・安全についての課題を発見し、科学的な根拠をもとにその課題を解決することができる	・運動の特性に応じた動きのポイントと自己の動きとの比較をもとに、仲間と積極的にかがわり合って、自己の課題を合理的に解決することができる	・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うために必要なことについての追究や意見交換を通して、自分の考えを構築することができる	・地域が抱える問題について、個人やかがわり合いを通して追究し、地域に貢献するための考えをもつことができる	
	3年	・主題、主張と根拠などに着目して書き手の考えを構築することができる	・解決に必要な具体的な情報を収集・選択し、社会的な事象の意味や意義、特色や相互の関連、よりよい社会のあり方を考察することができる	・数学的事象を、論理的に考察できる	・観察や実験など科学的に探究し、結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだしながら科学的に考察することができる	・歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりをもとに、音楽をどのように表すかについて思いや意図をもつことができる	・造形的なよさや美しさ、表現の意図や創造的な工夫について独創的、総合的に考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる	・自己の生活と関連づけて、健康・安全についての課題を発見し、科学的な根拠をもとにその課題を解決することができる	・運動の特性に応じた動きのポイントと自己の動きとの比較をもとに、仲間と積極的にかがわり合って、自己の課題を合理的に解決することができる	・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うために必要なことについての追究や意見交換を通して、自分の考えを構築することができる	・社会的な話題について見いだした問題を解決するために、追究活動や他者との意見交換を通して自分の考えを構築することができる	・地域が抱える問題について、多様な考えや多角的な視点をもち、学年や学級、地域に働きかける提案をすることができる
学びを行動に移す力	1年	・自分の立場や意見を明確にしなが、ものの見方や考え方を広げようすることができる	・身につけた知識や考え方を生かして、主体的に持続可能な社会のあり方を考えることができる	・既習事項をもとに、日常生活で、数で表現を利用しようとする	・解き明かした自然の事物・現象の視点で、自分の生活を見つめることができる	・音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽表現を創意工夫したり、音楽を自分なりに評価しながら聴いたりして、生活に生かすことができる	・伝える相手や内容などを考えながら、自分の思いや色や形に表現し、作品を制作することができる	・発達状況に応じた健康を保持増進する方法を日常生活に生かしたり、新たな課題解決に役立てたりすることができる	・自己の最善を尽くして運動する経験をを通して、運動の楽しさや喜びを味わい、多様なかがわり方を通して運動に親しもうとすることができる	・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うために必要なことを踏まえ、英語を用いて会話しようとする	・三川地区の「宝」を、学校内や地域で発信する中で、二川のよさを実感し、郷土愛を深めることができる	
	2年	・十分な調査や追究の結果から得た根拠に基づきながら、もの見方や考え方を生活に役立てようとする	・身につけた知識や考え方を生かして、周囲と協調しながら持続可能な社会のあり方を考えたり、具体的に行動したりできる	・既習事項をもとに、日常生活や社会で、数学を利用しようとする	・解き明かした自然の事物・現象の視点で、自分の生活を見つめ、それを生かそうとする	・音楽的な見方・考え方を働かせ、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫したり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりして、生活に生かすことができる	・伝える相手や内容などを考えながら、自分の思いや願いを色や形に表現し、制作した作品をとおして生活や社会に発信することができる	・疾病などにかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を日常生活に生かしたり、新たな課題解決に役立てたりすることができる	・自己の最善を尽くして運動する経験をを通して、運動の楽しさや喜びを味わい、多様なかがわり方を通して運動に親しもうとすることができる	・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うために必要なことを踏まえ、英語を用いて会話しようとする	・地域が抱える問題について、自分たちにできることを考え、実際に地域に貢献するために活動することができる	
	3年	・目的や相手に応じて適切な手段を選びながら、もの見方や考え方を通して自分の生き方を見つめようとする	・身につけた知識や考え方を生かして、対立と合意、効率と公正など今日の視点から持続可能な社会のあり方を考えたり、具体的に行動したりできる	・既習事項をもとに、日常生活や社会で、数学を利用しようとする	・解き明かした自然の事物・現象の視点で、自分の生活を見つめ、それを生かそうとする	・音楽的な見方・考え方を働かせ、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫したり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりして、生活に生かすことができる	・伝える相手や内容などを考えながら、自分の思いや願いを色や形に表現し、制作した作品をとおして生活や社会に発信することができる	・疾病などにかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を日常生活に生かしたり、新たな課題解決に役立てたりすることができる	・自己に合った運動の経験を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動に親しもうとすることができる	・学んだ内容や自分で解決した課題を、実際の生活や社会で生かそうとすることができる	・社会的な話題について、追究活動や意見交換を通して構築した自分の考えを、他者に英語で伝えようとする	・地域の問題を自分事として捉え、ふるさとをよりよくするために自分ができることを具体的に考えて自ら参画することができる
未来の創造に向けた動きやすさ	○言葉をよりどころにしながら、文章の意図を捉えたり、自分の思いを表現したりする	○社会的な事象への関心を高め、幅広い視点で見つめながら積極的に社会に関わる	○身まわりの事象を、数理的に考察したり、表現したりして、生活や学習に生かす	○自然の神秘や科学の有用性を実感し、解き明かした学びの視点で自分の生活を見つめたり、生かしたりする	○音楽を形づくっている要素によるはたらきが生み出すよさを実感し、音楽によって生活を明るく豊かなものにする	○生活や社会の中の多様な美術や美術文化と豊かにかかわり、他者との違いを楽しみながら、自分の思いを表現する	○生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する	○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する	○英語で表現し伝え合うために、英語やその背景にある文化を、社会や世界、他者とのかがわりに着目して捉えようとする	○地域の問題解決に取り組むことを通して、自分たちが未来を創る担い手としての意識を高め、実際に地域に参画する		

主題設定の理由

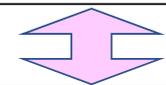
生徒の実態から



○行事で、一部の生徒が全校を動かそうとする場面が見られた。授業では、自分で調べたり、考えを相手に伝えようとしていたりする生徒が少しずつ見られるようになってきた。
→生徒が自ら動きだす姿を価値づけ、全体に広げたい。授業や学校生活で、見いだした問いに対して考えを深め、学びを生活に生かそうと動きだしてほしい。

時代の要請から

○社会は想定以上の速さで変化していて、生徒は劇的な変化が予測される未来を生きていく。
○学習指導要領より
・時代に求められる教育の実現…持続可能な社会の創り手・社会に開かれた教育課程
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む
→自らの意志で主体的に見聞きし、考え、仲間と協働しながら問題を解決し、誰もが幸せと感じられるような未来を力強く創造してほしい。



目指す生徒像

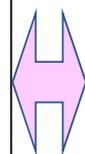
「自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動きだす生徒」

○自らの意志で学び続け

・身のまわりにある事象から、自発的な問い（問題）を見だし、個人追究や仲間とのかかわり合いを通して、自分の考えを構築していく生徒

○未来の創造に向けて動きだす

・問題の解決に取り組む中で、自らの学びを見つめながら、学びを次の学習やこれからの生活に生かそうとしたり、生活や社会に広げたりしようとする生徒



<問いを生む力>

いろいろな事象に疑問をもち、自ら追究しようと動きだす力
この力を高めると・・・自発的な問いを見だし、自らの意志で学び始める

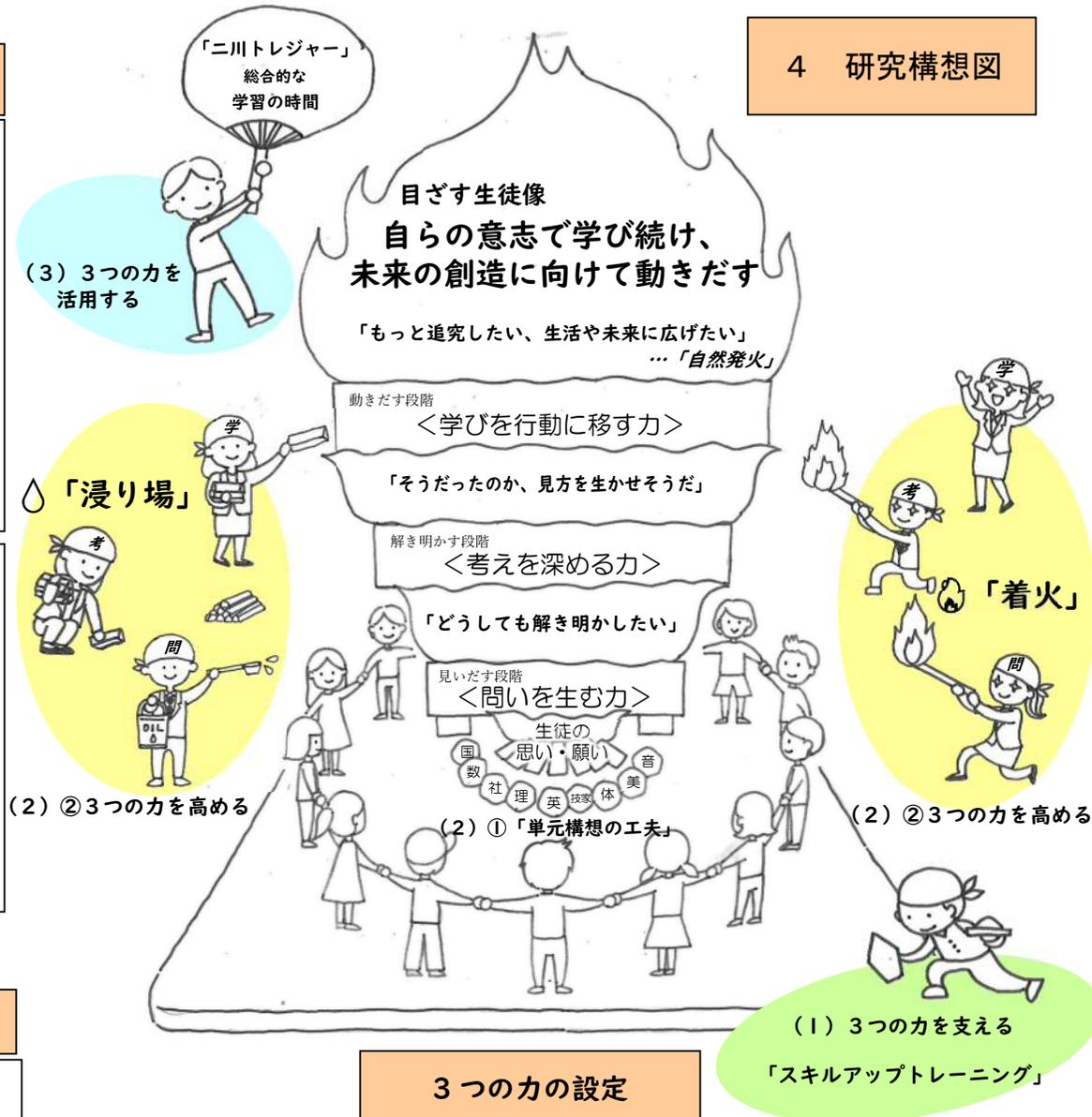
<考えを深める力>

問題の解決に向けた個人追究やかかわり合いを通して、自らの考えを構築する力
この力を高めると・・・自らの意志で学びを進め、根拠のある自分なりの考えを構築する<個人追究>・・・仲間の考えとの違いに気づき、自分の考えを再構築する<かかわり合い>

<学びを行動に移す力>

自らの学びを生かしたり、広げたりする力
この力を高めると・・・自分の学びを見つめ、それを生かしたり広げたりしようとする生徒

3つの力の設定



4 研究構想図

研究のてだて

(1) 3つの力を「支える」てだて (帯活動)

○朝の活動「スキルアップトレーニング」を開発、実施

(2) 3つの力を「高める」てだて (各教科の授業)

① 生徒の思いや願いに寄り添い、問題意識の高まりと思考の深まりにこだわった「単元構想の工夫」

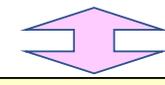
② 授業における2種類のてだての工夫
△「浸り場」

生徒を教材や追究に浸らせ、思いや願いを醸成したり、考えを構築したりするための場の設定

◎「着火」
生徒の考えを揺さぶり、思考を深めるための提示・演示・焦点化

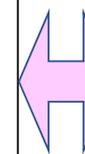
(3) 3つの力を「活用する」てだて (総合的な学習の時間)

○地域資源を生かし、生徒の思いや願いに寄り添いながら構想する「二川トレジャー」の計画、実践



研究の仮説

生徒の思いや願いに寄り添いながら、3つの力を「支える」、「高める」、「活用する」ために、問題解決的な学習を軸とした教育活動を工夫すれば、生徒は自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動きだすことができるであろう。



5 研究の仮説

生徒の思いや願いに寄り添いながら、3つの力を「支える」、「高める」、「活用する」ために、問題解決的な学習を軸とした教育活動を工夫すれば、生徒は自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動き出すことができるであろう。

6 研究のてだて（下線、てだて）

（1）3つの力を「支える」てだて（帯活動）担当・・・学びを支えるスキルづくり部会

○毎週数回、10分程度の帯活動「スキルアップトレーニング（通称：スキトレ）」を開発し、継続して実践する

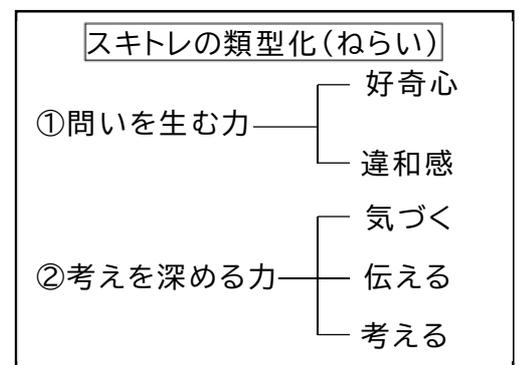
・2つの力を支えるものを類型化し、トレーニングの種類を整理

①問いを生む力を支えるために

知的好奇心を揺さぶることを目的としたトレーニング
違和感を察知することを目的としたトレーニング

②考えを深める力を支えるために

気づくことを目的としたトレーニング
伝えることを目的としたトレーニング
考えることを目的としたトレーニング



・学びを行動に移す力を支える活動としては、スキルアップトレーニングの振り返り活動を充実させることで支えていく

※スキトレが授業や生活のどの場面で生きたのか、検証をする。

※簡単な実践事例集（指示書集）にまとめる。

（2）3つの力を「高める」てだて（各教科の授業）

担当・・・授業づくり部会

①単元（題材）構想の工夫

・生徒の思いや願いに寄り添い、問題意識の高まりと思考の深まりにこだわった単元構想の工夫

<5つのポイントを大切に、単元を構想する>

A：生徒の生活を見つめ、思いや願いをとらえながら、単元を構想する

B：単元を貫く、生徒にとって切実性のある『問題意識』を掘り起こす

C：問題に対し、個人追究とかかわり合いの場を保障し、思考の深まりをねらう

D：生徒の思考の深まりが、教科の本質（教科を学ぶ意義）に迫るようにする

E：終末には、学びを今後の授業や日常生活に生かしたり広げたりできるようにする

<生徒の思考の流れを想定し、単元を3つの段階で構想する>

I 教材と出会い、問題を見いだす段階（見いだす段階）

II 問題の解決に向けて追究する段階（解き明かす段階）

III 生活に生かしたり広げたりする段階（動き出す段階）

②授業における2種類のでだての工夫

授業のでだて①：△「浸り場」

生徒を教材や追究に浸らせ、思いや願いを醸成したり、考えを構築したりするための場の設定

授業のでだて②：🔥「着火」

生徒の思考を揺さぶり、思考を深めるための提示・演示・焦点化

I 問いを生む力を高めるために（見いだす段階）

- ・導入において、教材に向き合い、「やってみたい」「調べてみたい」など、知的好奇心をくすぐることができるように、教材との出会わせ方を工夫し、教材に十分に浸れる場を設定する
(授業のでだて① 浸り場：思い・願いを温める)
- ・導入後、(生活経験や既成概念との間に「ずれ」を感じ)「どうしても解き明かしたい」という問題意識(魅力・価値・必要感・困り感)をもてるように、事象や資料等の意図的な提示・演示・焦点化を講じる
(授業のでだて② 着火：心に火をつける)

3年目の重点

II 考えを深める力を高めるために（解き明かす段階）

- ・生徒が根拠のある自分なりの考えを構築できるように、個人追究において、追究に十分に浸れる場を設定する
(授業のでだて① 浸り場：個人追究を支える)
- ・生徒が新たな視点や考え方を実感し、自分の考えを再構築できるように、かかわり合いの場において、新たな視点が学級内に現れたとき、生徒の思考が深まる提示・演示・焦点化を講じる
(授業のでだて② 着火：新たな視点を生み出す)

III 学びを行動に移す力を高めるために（動きだす段階）

- ・生徒が自分の学びを見つめ、学びを生活や未来に生かすことができるように、生徒が学びを振り返ったり、学びを発信したりする場を設定する (授業のでだて① 浸り場：学びを生活につなぐ)

→ この段階では、着火のでだてを講じなくても、子どもの心には自然に火がつく…「自然発火」

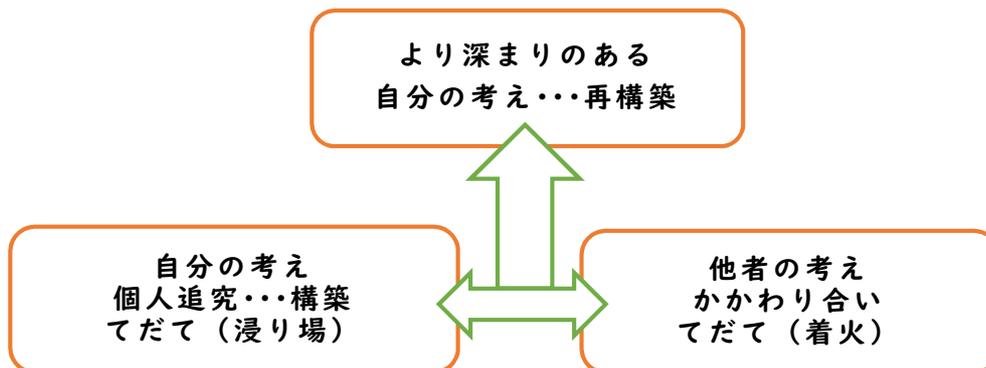
※R4は、追究活動を通して生徒が自分の考えに明確な根拠をもてるようにするために、「浸り場」のでだての場の設定に加え、個人追究において教師との対話による問い直しや朱書きなど、効果的な支援の研究を進める。

※R4は、生徒が考えを再構築できるようにするために、かかわり合いの場面において座席表を生かしながら、より効果的な「着火」のでだてを講じられるように研究を進める。

※「自然発火」、「未来を創造に向けて動き出す姿」について、各教科における具体的な生徒の姿を語れるようにする。

※てだてを講じる場面では、生徒が各教科の見方・考え方を働かせながら追究を進め、力を高められるように、単元構想や本時の構想をする段階からどのような見方・考え方を働かせるのかについて考えていく。

※考えを深めるイメージについて



（3）3つの力を「活用する」てだて（総合的な学習の時間）

担当・・・学びを広げる場づくり部会

○地域資源を生かし、生徒の思いや願いに寄り添った、総合的な学習の時間「二川トレジャー」を計画、実践する（社会に開かれた教育課程の実現）

・「二川トレジャー」の計画と実践

1年 「二川に学ぶ」～二川の宝って何だろう～ 【地域発掘】

2年 「二川で生きる」～働くことって何だろう～ 【地域貢献】

3年 「二川を語る」～未来の創造、これからの社会で私たちができることは何か～【地域参画】

・「二川トレジャー」では、教科と同様に「浸り場」、「着火」のてだてを講じて力を高めることもあれば、「浸り場」だけを講じて力を活用できるようにすることもある

3つの力を高めるとき・・・教科と同じように各段階で2つのてだてを講じる

3つの力を活用するとき・・・てだてを講じなくても、力が生かされていると感ぜられる場面を見取る

※各学年の実践計画案に基づき、可能な範囲で、問題解決的な学習を展開、実践する。活動のそれぞれの場面で、どの力を高めたり、活用したりできるのかを意識する。

※地域を扱うので教科より生徒の生活との関連が作りやすい、未来の創造に向けて動き出す姿を明確にしていく。

※学びを仲間や地域に発信・発表できる機会を意図的に設定する。全校で発表、パネルディスカッション、シンポジウムなど内容や形態を考える。